

佐呂間町

ウェブアクセシビリティガイドライン

目次

1. はじめに.....	1
■ 1-1 本ガイドラインの目的	1
■ 1-2 対象範囲	1
■ 1-3 ウェブアクセシビリティについて	1
■ 1-4 目標とする達成基準	2
2. 代替テキスト	3
■ 2-1 1)非テキストコンテンツに代替テキストを提供する	3
3. 時間依存メディア	5
■ 3-1 1)音声だけ及び映像だけ(収録済み)に代替コンテンツを提供する	5
■ 3-2 2)同期したメディアの音声と映像に代替コンテンツを提供する.....	6
4. 適応可能.....	7
■ 4-1 1)ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップする	7
■ 4-2 2)コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つ	10
■ 4-3 3)理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える	12
5. 識別可能.....	13
■ 5-1 1)色の違いだけで情報を伝えない	13
■ 5-2 2)利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する	15
■ 5-3 3)背景と文字とのコントラストを十分に確保する	16
■ 5-4 4)テキストのサイズを利用者が変更できるようにする.....	17
■ 5-5 5)必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない	18
6. キーボード操作可能.....	19
■ 6-1 1)キーボードのみで操作できるようにする	19
■ 6-2 2)キーボード・フォーカスを閉じ込めない	20
7. 十分な時間.....	21
■ 7-1 1)制限時間は原則として設けない.....	21
■ 7-2 2)自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツは、利用者が停止できるようにする	22
8. 発作の防止	24
■ 8-1 1)閃光を放つコンテンツは原則として設けない	24
9. ナビゲーション可能	25
■ 9-1 1)ブロックスキップができるようにする	25
■ 9-2 2)ページの内容を予測できるようなページタイトルをつける	27
■ 9-3 3)ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする.....	28
■ 9-4 4)リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする.....	29
■ 9-5 5)複数の到達手段を提供する	31
■ 9-6 6)内容が分かる見出しやラベルをつける.....	32
■ 9-7 7)フォーカスが視覚的に認識できるようにする.....	33
10. 読みやすさ.....	34
■ 10-1 1)言語を指定する.....	34
11. 予測可能.....	35
■ 11-1 1)コンテンツにフォーカスしただけでコンテキストの変化を引き起こさない.....	35
■ 11-2 2)コンテキストの変化を引き起こす前に何が起るのかを説明し、実行ボタンを提供する	36
■ 11-3 3)一貫したナビゲーションを提供する.....	37
■ 11-4 4)同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる.....	38

12. 入力支援	39
■ 12-1 1)フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮する	39
■ 12-2 2)フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにする	41
13. 互換性	42
■ 13-1 1)仕様に準じてウェブコンテンツを作成する	42
■ 13-2 2)識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする.....	43

1. はじめに

■ 1-1 本ガイドラインの目的

「佐呂間町ウェブアクセシビリティガイドライン」(以下、本ガイドラインという)は、日本工業規格 (JIS X 8341-3) を踏まえ、佐呂間町がウェブサイトにおいて年齢や身体的条件、特定の持病の有無、閲覧環境にかかわらず、多くの利用者が同様に利用できる情報提供を行うため、ウェブページの作成を行う各所属の職員が注意すべき点について、詳しく解説したものです。佐呂間町ウェブサイトを通じた情報提供のさらなる充実を、本ガイドラインの目的と位置づけます。

なお、本ガイドラインの一部の具体例では、架空のサイト「さんぷる市」を用いて対応内容を説明するものとします。

■ 1-2 対象範囲

佐呂間町ホームページ (<http://www.town.saroma.hokkaido.jp> で始まるページすべてを指します。)

なお、サイト全体のうち、以下については、対象外とします。

- ・動画コンテンツを含むページ
- ・バナー広告
- ・例規集
- ・Google マップを使用している全てのページ
- ・SNS や外部サービスを使用している機能やウェブページ

■ 1-3 ウェブアクセシビリティについて

ウェブアクセシビリティとは、高齢者や障がい者といった、ホームページ等の利用時に制約があったり不慣れな人々を含めて、誰もがホームページ等で提供される情報や機能を支障なく利用できることを意味します。

財団法人日本規格協会・情報技術標準化研究センター (INSTAC) のワーキンググループで策定した JIS X 8341-3:2004「高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器, ソフトウェア及びサービス- 第3部: ウェブコンテンツ」が 2004 年 6 月に公示されました。

2016 年 3 月、ウェブアクセシビリティに関する日本工業規格「JIS X 8341-3:2016」が改正公示され、これをうけて自治体・公共機関や公共性の高い企業などのサイトでは、バリアフリーなホームページを構築・運用し情報提供を行うことが重要であり、またこういった取り組みが急速に進んでいます。行政機関のホームページでは、利用環境や利用方法が違って、誰もが利用でき、使いやすいホームページであることが求められています。

■ 1-4 目標とする達成基準

日本工業規格（JIS X 8341-3:2016）の「レベルAA」に準拠することを目標とします。

2. 代替テキスト

■ 2-1 1) 非テキストコンテンツに代替テキストを提供する

関連 JIS 項目 : 1.1.1 非テキストコンテンツの達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ 画像を掲載する場合には、代替文字 (alt 属性) を付与する。
- ・ 代替文字 (alt 属性) は、適切な文章を記述する。
- ・ ASCII アート (アスキーアート)、顔文字は使用しない。

【目的】

画像などのテキストでない情報は、代替文字を提供することにより音声や点字のような利用者が必要とする形式に変換し利用することができます。また、利用者が画像を非表示にしている状態では、画像の代わりに文字が画像の内容を説明する役割となります。

代替文字は、画像の意図や役割が適切に伝わる代替文字を入力するようにします。

また、文字を組み合わせてその形状を絵や顔等に見立てた表現 (ASCII アートや顔文字) は、文字として意味が伝わらないので使用しないでください。

【具体例 1 : 画像内に文字が表記されている場合の代替文字】

✖ 悪い例

画像代替文字: 「設定なし」



第〇〇回花火大会
開催のお知らせ

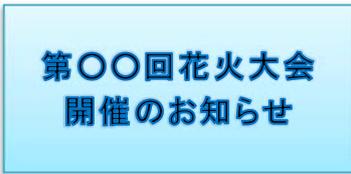


左記の画像に代替文字を設定しない場合、音声読み上げブラウザでは何も読み上げられず、次に表記された「日時と場所」だけが読み上げられます。

日時 : 2017 年 8 月 12 日 19 時~
場所 : 〇〇公園

○ 良い例

画像代替文字: 「第〇〇回花火大会開催のお知らせ」



第〇〇回花火大会
開催のお知らせ



代替文字を設定することで、音声読み上げブラウザで【第〇〇回花火大会開催のお知らせ】と読み上げられるため、利用者に正しい情報を伝えられます。

日時 : 2017 年 8 月 12 日 19 時~
場所 : 〇〇公園

【具体例 2 : 写真の場合】



✖ 悪い例

ひまわり

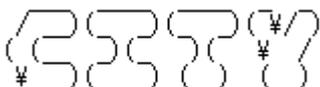
○ 良い例

晴天の中、いくつものひまわりが生き生きと咲いている風景

目の不自由な方が、音を通じてサイトを閲覧する際にこの画像の代替文字がないと、どのような画像なのかがわかりません。画像の情景が思い浮かべやすい内容を入力します。

【具体例 3 : ASCII アート (左) と顔文字 (右) の場合】

✖ 悪い例



✖ 悪い例

(*^_^*)

ASCIIアート(アスキーアート)とは、罫線やカッコなどの記号や文字を組み合わせて、視覚的な表現を行うものです。文字としての意味が伝わらないため、使用しないようにします。

3. 時間依存メディア

■ 3-1 1) 音声だけ及び映像だけ(収録済み)に代替コンテンツを提供する

関連 JIS 項目 : 1.2.1 音声だけ及び映像だけ(収録済み)の達成基準【レベル A】

【ルール】

収録済みの音声および動画コンテンツを掲載する際は、その内容がわかる情報を文章でも提供する。

【目的】

聴覚や視覚に障がいがある利用者が音声および動画コンテンツの情報を入手できるようになります。

【具体例：動画】

◎ 良い例



毎年開催されている「〇〇市夕日まつり」は一年で最も美しい夕日を眺めながら音楽や食事を楽しめるイベントです。記念すべき20回目の夕日まつりでは、豪華景品が当たる参加企画や様々なパフォーマンスが用意され、大成功を収めました。盛り沢山の企画を準備する運営スタッフの活動に密着した活動記録をご紹介します。

◎ より良い例

【動画 DE 広報〇〇】

インタビューテーマは「〇〇市夕日まつり」

ナレーション「〇〇市広報担当 △△さん」

夕日まつり運営スタッフ「夕日まつり運営スタッフ 事務局員 〇〇さん」

(音楽)

<〇〇会館の前で夕日まつりの設営準備をする△△さんの映像>

<〇〇さん>

今年はずいに夕日まつりが記念すべき第20回目を迎えますね。

今回の見所を教えてくださいたいと思います。

■ 3-2 2)同期したメディアの音声と映像に代替コンテンツを提供する

関連 JIS 項目：1.2.2 キャプション（収録済み）の達成基準【レベル A<一部除外>】

1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準【レベル A<一部除外>】

【ルール】

リアルタイム（生中継）の音声および動画コンテンツを掲載する際は、その内容がわかる情報を文章でも提供する。

【目的】

聴覚や視覚に障がいがある利用者が音声および動画コンテンツの情報を入手できるようになります。

【具体例：動画中継】

○ 良い例



4. 適応可能

■ 4-1 1)ウェブコンテンツの情報と関係性を適切にマークアップする

関連 JIS 項目 : 1.3.1 情報及び関係性の達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ 「見出し」要素は HTML の文法に則って使用する。
- ・ 「箇条書き」ページで掲載する場合は「リスト」要素を使用する。
- ・ 視覚情報による表現によって情報を伝えない。
- ・ 表を使用する際は、見出しと caption(表の表題)、を記述する。

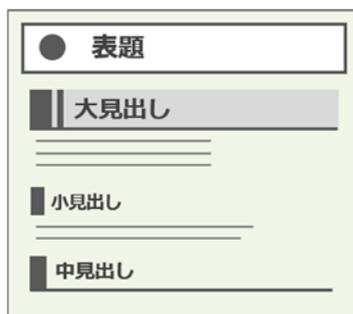
【目的】

HTML は、見出しや箇条書き、段落などの構造を記述するためのものです。ウェブコンテンツの文書構造に応じた適切な HTML 要素を用いることにより、文字の大きさや太さ、色といった視覚的な情報に頼ることなく、文書の内容が理解しやすくなります。

表は、縦横の関係を把握しなければならないため、音声読み上げソフトを使用した場合、内容を正しく理解することが難しい場合があります。そのため、表を使用することが最適な表現であるかを十分検討してください。また、表を使用する際には表の構造を示す HTML 要素を適切に用いることが重要です。

【具体例 1：見出し要素の使用について】

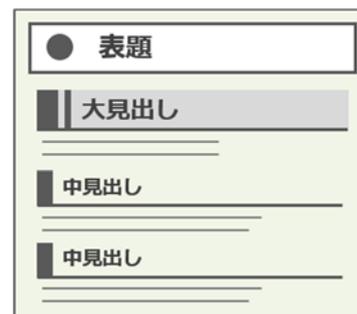
✖ 悪い例



○ 良い例



○ 良い例



見出しの順番は、「大見出し(h2)」→「中見出し(h3)」→「小見出し(h4)」の順で掲載します。h1 はすでに設定されているため、「大見出し(h2)」から設定することになります。

なお、「大見出し(h2)」→「中見出し(h3)」→「中見出し(h3)」は問題無いですが、順番が「中見出し(h3)」→「大見出し(h2)」→「小見出し(h4)」にならないよう注意してください。

スクリーンリーダーでは、見出しだけをピックアップ読み進むことができます。そのため、見出しが設定されていない場合は、目的コンテンツに辿り着くまで、全ての文章を読み上げなければなりません。

【具体例 2：リスト要素の使用について】

○ 良い例



○ 良い例

必要なもの

1. 認定申請は、本人又は家族のほか、居宅介護支援事業所や介護保険施設に代行申請してもらうことが可能です。（印鑑必要）
2. 介護保険証（第2号被保険者の場合は、医療保険の保険証）

一連の並列される情報や、順序立ててステップを説明するような内容は、リストとして表現する方が内容を理解しやすくなります。

【具体例 3：視覚情報による表現について】

✖ 悪い例

赤字の方が該当します。

- ・ 20 代
- ・ 30 代
- ・ 40 代以上

○ 良い例

赤字の方が該当します。

- ・ 20 代
- ・ 30 代
- ・ 40 代以上(該当)

【具体例 4：表の作成について】

✖ 悪い例

表題と見出しがないため、内容の把握が困難である例。

予防接種の項目	実施日	実施場所
BCG・三種混合接種	毎月第1火曜日	○×医院
麻しん風しん混合・BCG接種	毎月第2火曜日	△○クリニック
ポリオ・麻しん風しん混合・BCG接種	毎月第3火曜日	×△病院

2行目を読み上げると、「○×医院」がどのような情報を指し示すのか正しく伝わりません。

読み上げ例)「BCG・三種混合接種 毎月第1火曜日 ○×医院」

○ 良い例

表題と見出しを設定してわかりやすい情報を提供する例。

予防接種

予防接種の項目	実施日	実施場所
BCG・三種混合接種	毎月第1火曜日	○×医院
麻しん風しん混合・BCG接種	毎月第2火曜日	△○クリニック
ポリオ・麻しん風しん混合・BCG接種	毎月第3火曜日	×△病院

表題を設定することでセル内の内容が「予防接種」に関する表であり、「予防接種の項目」「実施日」「実施場所」の情報が提供されることがわかります。

読み上げ例)「予防接種の項目 BCG・三種混合接種
実施日 毎月第1火曜日
実施場所 ○×医院」

■ 4-2 2)コンテンツの意味を理解するのに必要な音声読み上げの順序を保つ

関連 JIS 項目 : 1.3.2 意味のある順序の達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ 文中にレイアウト目的でスペースや改行を使用しない。
- ・ 年月日によく使われるスラッシュ(/)や時刻に使われるコロン(:)などの記号は使用しない。
- ・ 表は読み上げ順を考慮して内容を理解しやすくなるように考慮して作成する。

【目的】

音声読み上げソフトなどは、HTMLに記述された順序で読み上げます。そのため、文書の内容や構造と視覚的な位置が異なっている場合、正しい順序で読み上げられないため、文書の内容を理解することが難しくなります。

音声読み上げブラウザでは改行箇所、スペースで休止します。そのため、意図としない内容で文章が読み上げられてしまいます。

また、記号表記した場合、音声読み上げブラウザでは意図しない内容で読み上げられることがあります。

【具体例 1 : 単語や文字間にスペースを用いている場合】

✖ 悪い例

単語	読み上げ例
戸 籍	ト セキ

○ 良い例

単語	読み上げ例
戸籍	コセキ

【具体例 2 : 年月日や時刻、通貨の表記】

✖ 悪い例

単語	読み上げ例
1/3	サンブン ノ イチ
9:30	キュウ コロン サンジユウ
H30	エイチサンジユウ

○ 良い例

単語	読み上げ例
1月3日	イチガツミツカ
9時30分	クジサンジュップン
平成30年	ヘイセイサンジユウネン

【具体例 3：表の読み上げについて】

1	2	3	4
5	6	7	
8	9	10	
		11	12

はじめの行を左から右、次の行を左から右と読み上げていきます。
セルの結合や分割があると複雑な読み上げ順となります。

＜表作成のポイント＞

- ・ 表以外の表現方法がないか検討する。
- ・ 表は単純な構造を保つ。
- ・ セルの結合や分割はできるだけしない。
- ・ 読み上げ順を考慮し、横方向(行)のデータを意識する。
- ・ 内容を簡潔に表す表題をつける。

● 良い例

月曜日	→	火曜日	→	水曜日
雨	→	晴れ	→	曇り

◎ より良い例

月曜日	→	雨
火曜日	→	晴れ
水曜日	→	曇り

スクリーンリーダーは左から右に読み上げます。
良い例の場合、聞き手は一行目を暗記する必要があります。
より良い例のようにすることで、曜日のあとにすぐ天気を読み上げるため理解しやすくなります。

■ 4-3 3) 理解すべき情報を感覚的にだけ伝えることのないように、テキストでも情報を伝える

関連 JIS 項目 : 1.3.3 感覚的な特徴の達成基準 【レベル A】

【ルール】

形、大きさ、視覚的な位置、方向、又は音のような感覚的な特徴だけで説明せず、テキスト情報を補足する。

【目的】

形または位置など感覚的な視覚情報だけでは視覚的に障がいのある利用者がその情報を理解できない場合があります。形や位置だけではなく、補足の情報としてテキストデータを提供することで情報を理解できるようになります。

【具体例 1 : 感覚（形）によって情報を伝えている悪い例と、テキストでも情報を伝えている良い例】

✖ 悪い例



○ 良い例



[このページの先頭へ](#)

【具体例 2 : 感覚（位置）によって情報を伝えている悪い例と、テキストでも情報を伝えている良い例】

✖ 悪い例



○ 良い例



5. 識別可能

■ 5-1 1)色の違いだけで情報を伝えない

関連 JIS 項目 : 1.4.1 色の使用の達成基準 【レベル A】

【ルール】

色のみで「情報を伝える」、「動作を示す」、「反応を促す」表記はしない。

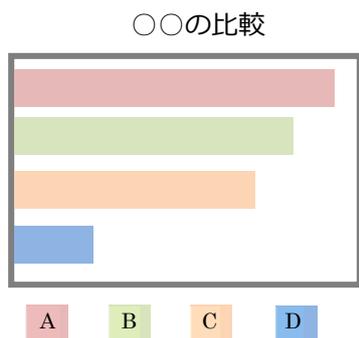
【目的】

色覚障がいのある利用者や音声読み上げブラウザを使用している利用者は、色の違いを区別することが難しいです。

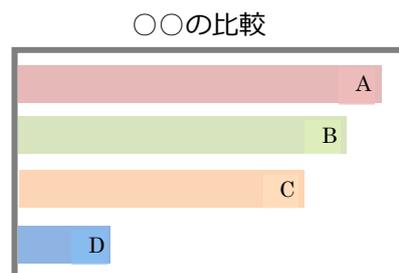
そのため、「赤字はエラー(例)」や「必須項目は赤字です(例)」など、色の違いだけで情報の違いを表現されると正しく意図が伝わらないので、テキスト情報で表記します。

【具体例 1 : 色の違いだけで情報を伝えているグラフ】

✖ 悪い例



○ 良い例



色情報が無い場合でも情報が伝わるように、各データの上にテキストデータを載せたり各データを色で区別するのではなく、模様などで表記することで情報を理解できるようになります。

また、可能であれば、グラフの説明に関する文章を掲載することを優先します。

【具体例 2 : 色の違いだけで必須項目を伝えているメールフォーム】

✖ 悪い例

赤字は必須です。必ずご入力ください。

お名前

電話番号

○ 良い例

(必須) の項目は必ずご入力ください。

お名前 (必須)

電話番号

■ 5-2 2) 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

関連 JIS 項目 : 1.4.2 音声の制御の達成基準 【レベル A】

【ルール】

音声を自動的に再生しない。

【目的】

音声読み上げブラウザを使用している利用者は同時に他の音声再生されると、読み上げられている音声聞き取りづらくなります。また、音が鳴ることが好ましくない環境で使用している、または音が鳴ることによって情報を読むことに集中できなくなることもあります。そのため、音声を自動的に再生することは避けてください。

なお、基本的に音声は自動再生させないことが推奨されますが、警告などの目的で発せられる極短時間の音声については、許容されます。

【具体例 1 : 動画の再生】



音声は自動再生せず、クリックしたら音声再生するよう設定してください。

【具体例 2 : 音声の再生】

[♪〇〇市歌\(オルゴール風メロディ\)・・・クリックすると音楽が流れます](#)

■ 5-3 3)背景と文字とのコントラストを十分に確保する

関連 JIS 項目 : 1.4.3 コントラスト (最低限レベル) の達成基準 [レベル AA]

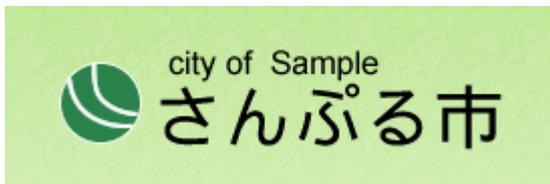
【ルール】

画像内に文字が配置されている場合は、文字の背景色と前景色のコントラストを十分確保する。

【目的】

画像内の文字色と背景色のコントラストを十分に確保できていない場合、高齢者をはじめとする多くの利用者は文字を認識することができないため、画像内に文字が配置された画像を使用する場合は文字を識別しやすい画像を使用します。

【具体例 : バナーのコントラスト】



※コントラストを調べる無料ツールはいくつかあります。ここでは、その1つをご紹介します。

カラー・コントラスト・アナライザー <http://www.infoaxia.com/tools/cca/index.html>

A screenshot of a website banner for 'city of Sample さんぶる市'. The banner has a green background and features a landscape image of a lake and hills. Two smaller images of flowers are overlaid on the main image. A 'Colour Contrast Analyser' tool window is open over the banner, showing the contrast ratio between the foreground and background colors. The tool window has a title bar 'Colour Contrast Analyser' and a menu bar 'オプション(O) 色変換シミュレーション(S) ヘルプ(H)'. It has fields for '前景' (Foreground) and '背景' (Background) with color pickers and hex codes. The foreground color is black (#000000) and the background color is light green (#CEEDAD). The 'アルゴリズム' (Algorithm) section has '色差 / 明度差(B)' and 'コントラスト比(L)' options, with 'コントラスト比(L)' selected. There is a checkbox for '色覚特性ごとの結果を表示(B)'. The '結果 - コントラスト比' section shows a contrast ratio of 16.3:1. Below this, there are two columns of results: '通常のサイズ' (Normal size) and '大きいサイズ' (Large size). Each column has two rows: 'OK (AA)' and 'OK (AAA)', both with green checkmarks.

■ 5-4 4) テキストのサイズを利用者が変更できるようにする

関連 JIS 項目 : 1.4.4 テキストのサイズ変更の達成基準 【レベル AA】

【ルール】

利用者がテキストのサイズを任意で 200%までサイズを変更できるようにする。

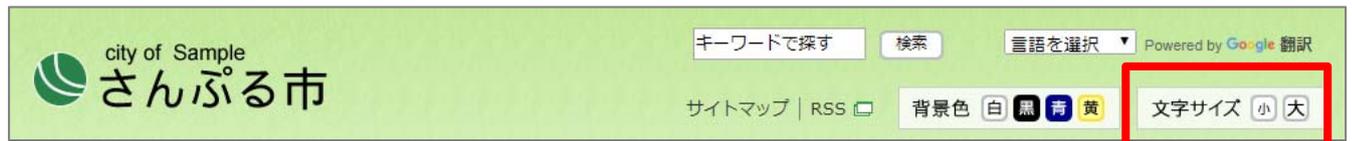
【目的】

高齢者など、軽度の視覚障がいを持つ利用者が、画面拡大ソフトのような支援技術を使わずにそのまま読むことができるようになります。

このとき、任意で文字サイズを変更することができるように文字サイズは絶対値で入力しないようにします。

【具体例 1 : 文字を拡大する機能】

○ 良い例



【具体例 2 : テキストコンテナを絶対指定していて、文字を拡大してもテキストコンテナサイズが拡大しない例】

✗ 悪い例

通常の文字サイズでの表示

最寄りの空港は、サンプル空港になります。
各地の空港からサンプル空港までの所要時間

拡大したときに文字が途切れている

最寄りの空港は
、サンプル空港

拡大したときに文字がはみ出している

最寄りの空港は
、サンプル空港

になります。

■ 5-5 5) 必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない

関連 JIS 項目：1.4.5 文字画像の達成基準【レベル AA】

【ルール】

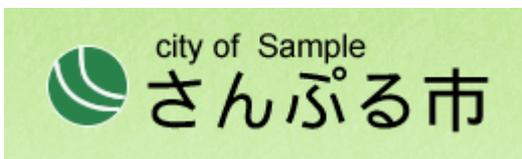
必要不可欠な場合を除いて、文字を画像化しない。

【目的】

文字を画像にしないことで、文字の拡大や色の変更など利用者が閲覧しやすい状態に変更できるようにします。

【具体例：必要不可欠な場合】

<ロゴ>



<画像上の文字>



県章・市章やロゴタイプという視覚的表現は、そのロゴのアイデンティティとして不可欠です。また、バナーなどのウェブデザインとして必要な要素は画像化して使用できます。

6. キーボード操作可能

■ 6-1 1) キーボードのみで操作できるようにする

関連 JIS 項目：2.1.1 キーボードの達成基準 【レベル A】

【ルール】

可能な限り、コンテンツをキーボードまたは（代替キーボードが利用できるような）キーボードインタフェースで操作できるようにする。

【目的】

目と手を一緒に使うマウスは、全盲の視覚障がい者には使用することができません。そのため、マウスを使うことなく、キーボード操作だけですべての情報や機能を利用できるようにすることが必要です。また、画面上のポインタ(マウスカーソル)を見つけたり、目で追ったりするのが困難な利用者や、手が震えたり、手の可動範囲に制限がある利用者についても同様です。

入力フォームを作成する際、HTML による場合は入力フォームを構成する部品及びリンクを適切に記述することが必要です。

ページ上の「メニューボタン」や「リンク」、「フォーム」などは CMS から作成することで、キーボードだけでも操作するように作成することが可能です。

■ 6-2 2) キーボード・フォーカスを閉じ込めない

関連 JIS 項目：2.1.2 キーボードトラップなしの達成基準 【レベル A】

【ルール】

全盲の利用者及び身体障害のある利用者など、キーボード又はキーボードだけを使用している利用者がウェブコンテンツを利用できるようにする。

【目的】

利用者がキーボード操作でフォーカス移動している際、コンテンツの一部に閉じ込められないようにしなければなりません。キー操作以外で抜け出すことができる場合はその方法をページ上に記載しておきます。

特殊なプラグインや埋め込みアプリケーション等をページ上で使用している場合、フォーカスが閉じ込められることがあります。CMS から特殊なプラグインをページ上に追加できないよう制限しています。

7. 十分な時間

■ 7-1 1) 制限時間は原則として設けない

関連 JIS 項目 : 2.2.1 タイミング調整可能の達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ コンテンツの閲覧時間・操作可能時間には、原則として制限を設けない。
ただし、イベントや施設利用の申込など情報の性質上、制限時間を設定する場合を除く。
- ・ コンテンツの閲覧時間・操作可能時間に制限を設ける場合には、利用者の操作によってその制限時間を延長することができるようにする。

【目的】

ウェブコンテンツを利用するためにかかる時間は、その利用者の機器や身体的な特性によって大きく異なります。制限時間を設けることにより想定する作業を完了できない、または意図しない申込をしてしまうなど、様々な不都合が生じる可能性があります。そのため、期日が定まっているイベントや施設利用申込など制限時間を設定することがやむを得ない場合を除いて、コンテンツの利用には時間制限を設けないようにウェブコンテンツを設計します。

また、セキュリティ確保の都合などでコンテンツの利用に時間制限を設ける場合には、利用者自身の操作によって、時間を延長できるようにすることが必要です。

【具体例 : 時間が来ると自動的にページ遷移する場合】

✗ 悪い例

[このページは 10 秒後にリダイレクトします。](#)

■ 7-2 2)自動更新するコンテンツや動きのあるコンテンツは、利用者が停止できるようにする

関連 JIS 項目：2.2.2 一時停止、停止及び非表示の達成基準【レベル A】

【ルール】

- ・ 画像を点滅させない。ただし、第三者から提供される画像等で使用することがやむを得ない場合を除く。
- ・ 画面の一部・全部を問わず自動スクロールを行わない。
- ・ 一定時間経過後であるか、瞬時であるかを問わず、コンテンツの自動更新を行わない。

【目的】

動きのあるコンテンツは高齢者や視覚に障がいがある利用者によっては認識しづらいことが多いため、利用者が任意のタイミングで停止できるようにします。

【具体例 1：スクロールしてループしている文字】

✖ 悪い例

←左へスクロール

校が地区予選を突破！！2地区で代表決定戦5試

【具体例 2：点滅しているコンテンツ例】

✖ 悪い例

New



New

オレンジから黄色に点滅するアイコン

○ 良い例

お知らせ

点滅しないアイコン

【具体例 3：自動更新だけでなく、自動的な移動も行わない】

✖ 悪い例

ホームページを移転しました
5 秒後に自動的にジャンプします。

○ 良い例

〇〇市ホームページはリニューアルに伴い URL
を変更しました。
お手数ですが、下記の URL をクリックしてくださ
い。

<http://〇〇〇city.lg.jp>

8. 発作の防止

■ 8-1 1) 閃光を放つコンテンツは原則として設けない

関連 JIS 項目 : 2.3.1 3回の閃光又は閾値以下の達成基準 【レベル A】

【ルール】

閃光を放つコンテンツは、原則として公開しない。

閃光を放つコンテンツを公開する場合、閃光は1秒間に3回以下であるものに限る。

【目的】

光過敏性発作の疾患のある利用者は、数回以上の閃光があり一定の周期で閃光を放つコンテンツによって発作を引き起こされる恐れがあります。

閃光を放つコンテンツは、閃光を放つ部分を失うことにより情報の本質が損なわれたり、表現として不足したりする場合に限り公開できるものとします。

設ける必要がある場合は、1秒間3回以下とし、閃光を放つエリアを十分に小さくする必要があります。

9. ナビゲーション可能

■ 9-1 1) ブロックスキップができるようにする

関連 JIS 項目 : 2.4.1 ブロックスキップの達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ 複数のウェブページ上で繰り返されているコンテンツのブロックをスキップする機能を提供する。
- ・ コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する。
- ・ 構造を示す要素を用いて、リンクをグループ化する。

【目的】

メインコンテンツ部分の前に、複数のページで使用されている「グローバルナビ」や「ヘッダー」が設置されている場合、ページの先頭からメインコンテンツ開始位置まで「スキップできる機能」を提供することで、繰り返し同じナビゲーションやリンクを聞かなくてよくなります。

また、見出し(h1,h2 などの h 要素)に移動する機能を備えたソフトの場合には読み飛ばすのと同等の機能を有することになります。

【具体例 1 : 見出しが適切にマークアップされたページ】

◎ 良い例

h1

さんぶる市について

h2

市名の由来

CMSKITの体験サイトのために架空の市です。このため名称は「さんぶる市」とし

h3

市の統計情報

さんぶる市の人口、世帯数、面積について以下の表に示します。

平成23年8月末現在の人口、世帯数、面積

人口	47,556人 (男23,455人、女24,101人)
----	-----------------------------

見出しのマークアップは、h1→h2→h3→h4→h5→h6 の順番に設定します。

h1→h2→h2→h3 となるのは問題ないですが、h1 が無かったり、順番が h1→h3→h2 とならないよう注意が必要です。

【具体例 2：構造を示す要素を用いて、リンクをグループ化する】

● 良い例

文化施設

- [さんぶる市図書館](#)
- [さんぶる市美術館](#)
- [さんぶる市歴史資料館](#)
- [さんぶる市民ホール](#)

```
<h2>文化施設</h2>
<ul class="indexlist">
<li><a href="2012-0705-1805-29.html">さんぶる市図書館</a></li>
<li><a href="2012-0706-1408-29.html">さんぶる市美術館</a></li>
<li><a href="2012-0706-1413-29.html">さんぶる市歴史資料館</a></li>
<li><a href="2012-0706-1417-29.html">さんぶる市民ホール</a></li>
</ul>
```

※CMS のリスト機能で上記のようにリンクをグループ化できます。

■ 9-2 2) ページの内容を予測できるようなページタイトルをつける

関連 JIS 項目 : 2.4.2 ページタイトルの達成基準 【レベル A】

【ルール】

ページの内容が伝わるタイトルを設定する。

【目的】

ページタイトルは音声読み上げブラウザで読み上げられる文字になります。わかりにくいタイトルを設定すると正しくページの内容を把握することができません。

また、同じ内容のページタイトルが設定されたページがある場合も混乱を招くので、ページの内容に合ったタイトルを設定します。

【具体例 : 見出しが適切にマークアップされたページ】

○ 良い例



CMS の機能では自動で以下の様なタイトルが自動挿入されます。

例) ページタイトル | 第 1 階層目 | ○○市

■ 9-3 3)ウェブコンテンツの順序どおりの使いやすいフォーカス順序にする

関連 JIS 項目 : 2.4.3 フォーカス順序の達成基準 【レベル A】

【ルール】

文書の内容や構造を無視した表示位置の指定をしない。

【目的】

キーボードで操作している利用者が、コンテンツ内を一つずつ順を追いながら行き来する場合、フォーカスは HTML が記述された順序若しくは HTML で指定された順序でリンクや入力フォーム内を移動します。そのため、利用者が想定するウェブコンテンツの意味の順序とフォーカスの順序が異なっている場合、文書の内容を理解することが難しくなります。

【具体例：フォーカス順序がコンテンツ順序と異なる例】

申込者のお名前を入力してください。

	申込者 1	申込者 2
姓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
名	<input type="text"/>	<input type="text"/>

✖ 悪い例

上図をキーボードで操作すると、姓→姓→名→名 となる。

○ 良い例

上図をキーボードで操作すると、姓→名→姓→名 となる。

■ 9-4 4)リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする

関連 JIS 項目：2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）の達成基準【レベル A】

【ルール】

- ・ リンクテキストだけでリンク先が予測できるように、リンク先の見出し要素等の文字列をリンクテキストとする。
- ・ 同一ページ内にリンク先の異なる複数の同一リンクテキストを用いない。
- ・ 「こちら」「詳細」などの曖昧なリンクテキストを用いる場合には、前後の文脈からリンク先の内容が予測できるように配慮する。
- ・ リンクの目的が、PDF 等のダウンロードである場合、ファイル形式及びファイルサイズをリンクテキストに含む、又は前後の文脈から容易に判断できるように配慮する。
- ・ 画像によるリンクの場合には、リンク先の内容を alt 属性として明示する。

【目的】

音声ブラウザにはリンク部分のみを抜粋して読み上げる機能があります。このとき「ここ」や「詳細はこちら」など指示代名詞だけで、前後の文字情報がない場合、リンク先情報が理解できない場合があります。

【具体例 1：リンクテキスト】

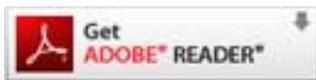
- ✖ **悪い例** 市内循環バスご利用案内です。詳しくは[こちら](#)。
- **良い例** [市内循環バスご利用案内のお知らせ](#)

【具体例 2：PDF など HTML 以外のファイルにリンクをはる場合】

- **良い例** [市民活動促進パンフレットのご案内](#)  (594KB)

【具体例 3 : 画像にリンクが設定されている場合】

✖ 悪い例



【代替文字例】

「http://～」とリンク先の URL が読み上げられます。

画像にリンク設定をし代替文字を何も設定していない場合は、音声読み上げブラウザではリンク先の URL が読み上げられてしまい、リンク先の正しい内容を伝えることが難しいです。

○ 良い例



【代替文字例】

「アドビリーダーのダウンロードページへ」

代替文字に「アドビリーダーのダウンロードページへ」と設定することで、利用者に正しい情報を伝えることができます。

■ 9-5 5)複数の到達手段を提供する

関連 JIS 項目 : 2.4.5 複数の手段の達成基準 【レベル AA】

【ルール】

- ・ サイト内にあるウェブページを見つける手段を複数提供する。
- ・ 関連するウェブページへナビゲートするリンクを提供する。
また、サイトには「サイトマップ」および「サイト内検索機能」を設ける。

【目的】

利用者がサイト内で目的のコンテンツを見つける手段を複数用意することで、利用者がコンテンツを見つけるのを手助けすることができます。

【具体例：関連するウェブページへナビゲートするリンク】

○ 良い例

関連リンク

- [〇〇資料館への交通アクセス](#)

■ 9-6 6)内容が分かる見出しやラベルをつける

関連 JIS 項目：2.4.6 見出し及びラベルの達成基準【レベル AA】

【ルール】

- ・ ページ作成時に、ページ内容が分かる見出しを付ける。
- ・ フォーム作成時は、目的や内容が分かるラベルを提供する。
- ・ コンテンツが利用者の入力を要求する場合は、ラベル又は説明文を提供する。

【目的】

ページ内容に見出しが記述されていることで、内容を利用者が理解したり、内容を推測しやすくなります。

【具体例 1：見出しだけで内容が推測できる例】

○ 良い例



【具体例 2：目的や内容が分かる入力フォームのラベル】

○ 良い例

お名前（必須）

名前を入力しなければならないことと、名前が必須であることが分かる入力フォームのラベルであることが判断できる。

■ 9-7 7)フォーカスが視覚的に認識できるようにする

関連 JIS 項目 : 2.4.7 フォーカスの可視化の達成基準 【レベル AA】

【ルール】

- ・ リンク文字やリンク画像にフォーカスされた時、視覚的な変化が起こるようにする。
- ・ フォーム等の入力項目にフォーカスされた時、視覚的な変化が起こるようにする。

【目的】

利用者がキーボード操作をしている際に、複数の要素のうちどの要素がフォーカス(選択)されているのかを利用者が認識しやすくします。

【具体例 1 : リンク文字】

○ 良い例

フォーカス前

- [市役所のご案内](#)

フォーカス後

- [市役所のご案内](#)

【具体例 2 : 入力フォーム】

○ 良い例

フォーカス前

お名前 (必須)	<input type="text"/>
----------	----------------------

フォーカス後

お名前 (必須)	<input type="text"/>
----------	----------------------

上記【具体例 1】【具体例 2】のフォーカスは、CMS から作成することで自動で対応します。

10. 読みやすさ

■ 10-1 1) 言語を指定する

関連 JIS 項目 : 3.1.1 ページの言語の達成基準【レベル A】
3.1.2 一部分の言語の達成基準【レベル AA】

【ルール】

それぞれのページでデフォルトの自然言語がどの言語であるかを指定する。

【目的】

ページ上ではコンテンツのデフォルトの自然言語を明示しなければなりません。

指定されている自然言語は、CMS からページを作成・更新する場合に自動で反映します。

11. 予測可能

■ 11-1 1)コンテンツにフォーカスしただけでコンテキストの変化を引き起こさない

関連 JIS 項目 : 3.2.1 フォーカス時の達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ ページを開いた際、ポップアップなど別のウィンドウを開かない。
- ・ 新しいウィンドウを開く際には、事前に通知をする。

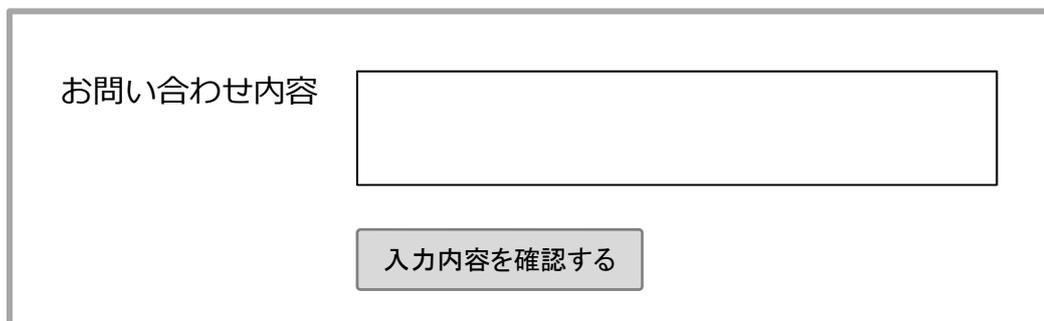
【目的】

フォーカスを受け取った時に、状況の変化(ウェブコンテンツの配置が大きく変化、新しいページへの移動など)を引き起こしてはなりません。

特に、ウェブページ全体を一度に見ることのできない利用者にとって、何が起きたのかが理解できず、次にすべき行動も把握できない可能性が高くなります。。

【具体例 : 入力フォーム】

- **良い例** コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるかを実行ボタンが詳しく説明していて、クリックすると確認ページへの移動が実行される例。



The image shows a user interface element within a light gray border. On the left, the text "お問い合わせ内容" (Inquiry content) is displayed. To its right is a large, empty rectangular input field. Below the input field is a button with the text "入力内容を確認する" (Confirm input content).

キーボードでエンターまたはクリックすることにより、急に音声 flowedたり、画像が切り替わることが無いようにします。CMS でページを作成する上では、自動で配慮された内容となります。

■ 11-2 2) コンテキストの変化を引き起こす前に何が起こるのかを説明し、実行ボタンを提供する

関連 JIS 項目 : 3.2.2 入力時の達成基準 【レベル A】

【ルール】

リンク設定時に「別ウィンドウ表示」にするのは、「サイト内以外のページにリンク設定する場合」、「PDF、Word、Excel といったファイルにリンク設定する場合」のみにする。

【目的】

視覚に障がいのある人や高齢者など多くの利用者は、新しいウィンドウが開いたことに気がつかないか、または、その変化に戸惑う場合があります。新しいウィンドウでは戻るボタンで元のページに戻れないのでさらに戸惑いを招く場合もあります。

また、たくさん開いたウィンドウを後から閉じる操作は上肢に障がいのある人にとっては困難な操作になるため、別ウィンドウ表示の使用は状況に応じて使用してください。

【具体例：別ウィンドウが必要な例】

- ・ 他ドメイン(例:総務省のホームページ等)へのリンク
- ・ ヘルプなど同時に参照したいページへのリンク
- ・ PDF や Word、Excel といったファイルへのリンク

■ 11-3 3)一貫したナビゲーションを提供する

関連 JIS 項目 : 3.2.3 一貫したナビゲーションの達成基準 【レベル AA】

【ルール】

繰り返されるナビゲーションは毎回同じ順序で提示する。

【目的】

繰り返し用いられているナビゲーションを、サイトの各ページで同じ順序で提示することによって、利用者が各ページのどこにそれがあのかを予測できるようになり、快適に利用できるようになります。

同じ機能が複数のページで異なった表記がされていると、サイト自体が使いづらいものになってしまいます。認知的負担を軽減するためにも、同じような機能は一貫した表記をする必要があります。

【具体例：繰り返されるナビゲーション】

(例)

「くらしの情報」 下層 1 ページ目

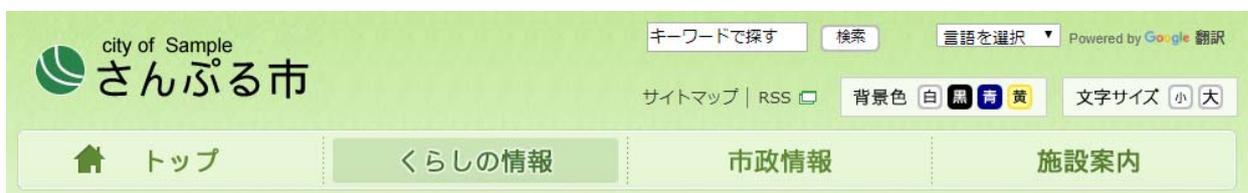


(例)

「くらしの情報」 下層 2 ページ目



一貫した表記



■ 11-4 4) 同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる

関連 JIS 項目 : 3.2.4 一貫した識別性の達成基準 【レベル AA】

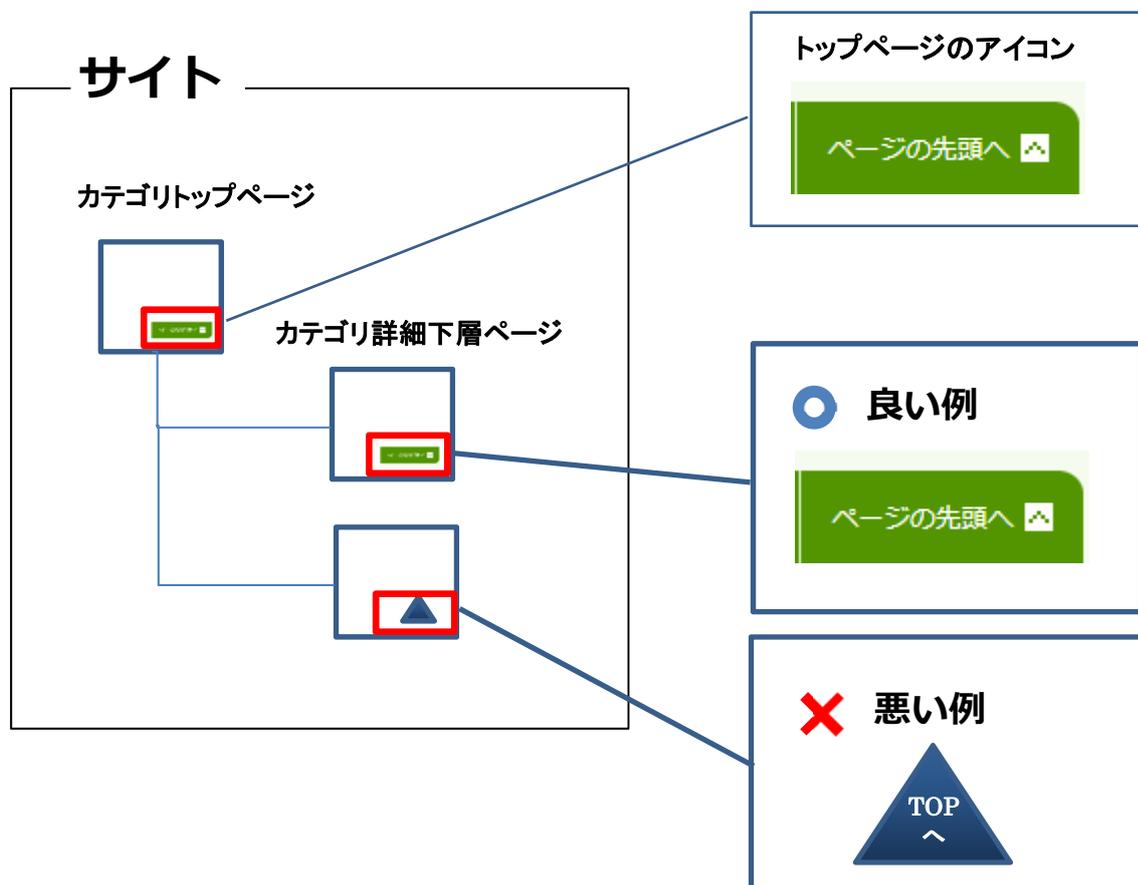
【ルール】

同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いる。

【目的】

同じ機能で名称が異なっていれば、利用者が混乱する場合があります。
同じ機能を持つコンテンツには一貫した名前や代替テキストを用いることで、利用者がスムーズに情報を理解することができるようになります。

【具体例 : アイコンやリンク】



CMS 上でページを作成する共通の部分は、一貫した名前および代替テキストを用いた状態となります。

12. 入力支援

■ 12-1 1) フォームにおいてスムーズに入力できるよう配慮する

関連 JIS 項目 : 3.3.2 ラベル又は説明の達成基準 【レベル A】

【ルール】

- ・ フォームの先頭で、必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供する。
- ・ 入力条件や、入力例などを事前に利用者に分かりやすく伝える。
- ・ 入力項目とラベルの関係がよく分かるように配置する。

【目的】

フォームを分かりやすく作れば、入力に時間のかかる利用者の負担を軽減することができます。また、スクリーンリーダーを利用している利用者や、手の不自由な利用者が入力しやすくなります。

【具体例 1 : 必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供している例】

○ 良い例

お問い合わせ

このホームページに関するお問い合わせ・ご意見は、下記フォームよりお願いいたします。
必須は必ずご記入ください。
メールアドレスは、半角英数字で入力してください。

お名前 (必須)	<input type="text"/>
メールアドレス (半角英数字)	<input type="text"/>
お問い合わせ内容 (必須)	<input type="text"/>

【具体例 2：入力条件や、入力例などを事前に利用者に分かりやすく伝える】

✖ 悪い例

このホームページに関するお問い合わせ・ご意見は、下記フォームよりお願いいたします。
必須は必ずご記入ください。

お名前	<input type="text"/>	(必須)
メールアドレス	<input type="text"/>	半角英数字のみ

【具体例 3：テキストフィールドの左側のラベル】

○ 良い例

お名前（入力例：山田太郎）

CMS 上でフォームを作成する際、ラベルとフォームはセットで追加できます。

■ 12-2 2)フォームにおいてエラーが起らないよう、起った場合はエラー箇所を特定できるようにする

関連 JIS 項目 : 3.3.1 エラーの特定の達成基準【レベル A】

3.3.3 エラー修正の提案の達成基準【レベル AA】

3.3.4 エラー回避（法的、金融及びデータ）の達成基準【レベル AA】

【ルール】

- ・ 入力フォームの入力欄には、できる限り条件を設けない。
- ・ 入力条件を設ける場合には、明確にテキストで説明する。
- ・ 入力内容にエラーがある場合には、エラーの箇所をテキストで示し修正内容を提示する。
- ・ 情報を送信する前に、入力内容を確認・修正をする仕組みを提供する。

【目的】

利用者が入力エラーの発生に気づき、何が誤っていたのか容易に理解できるようにします。

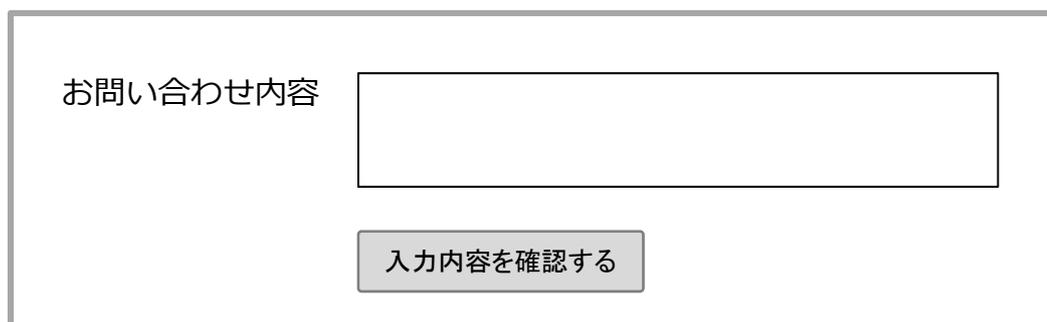
【具体例 1 : 必須項目や必要とする入力フォーマットに関する説明文を提供している例】

◎ 良い例

入力エラー : 必須項目が入力されていません。お問い合わせ内容を入力してください。

【具体例 2 : 送信する前に、ユーザーに入力内容を確認するように促している例】

◎ 良い例



お問い合わせ内容

入力内容を確認する

13. 互換性

■ 13-1 1)仕様に準じてウェブコンテンツを作成する

関連 JIS 項目 : 4.1.1 構文解析の達成基準 【レベル A】

【ルール】

ウェブページを仕様に基づき作成し、HTML や CSS の構文エラーが無いようにする。

【目的】

ウェブページが仕様に基づいていれば、仕様に基づき開発されている支援技術(スクリーンリーダー等)が問題なくコンテンツを理解できるようになります。

【具体例 1 : 開始タグ及び終了タグを仕様に基づいて用いていることを確認する】

✖ 悪い例

終了タグが抜けている例

```
<p>テキスト 1  
<p>テキスト 2</p>
```

○ 良い例

開始タグと終了タグが対応している例

```
<p>テキスト 1</p>  
<p>テキスト 2</p>
```

【具体例 2 : ウェブページの id 属性値が一意的 (ユニーク) であるようにする】

✖ 悪い例

```
<div id="main">テキスト 1</div>  
<div id="main">テキスト 2</div>
```

○ 良い例

```
<div id="main">テキスト 1</div>  
<div id="content">テキスト 2</div>
```

コンテンツを作成する際、仕様に基づいた HTML タグが自動で挿入されます。

■ 13-2 2) 識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする

関連 JIS 項目 : 4.1.2 名前 (name) , 役割 (role) , 及び値 (value) の達成基準 【レベル A】

【ルール】

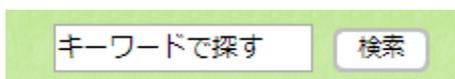
識別名及び役割はプログラムが解釈できるようにし、利用者が操作できるようにする。

【目的】

独自のコントロールを作成する場合には、識別名及び役割をプログラムや支援技術が解釈できるようにすることで、独自のコントロールを利用者が操作できるようになります。

【具体例 : 検索ボタン】

○ 良い例



「検索」が識別名となっていて、プログラムが画像を検索ボタンであると解釈し、利用者が検索することができます。